

平成30年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立 河西中 学校
作成日	平成31年 3月 8日

1 教育目標

自主的でたくましく、心豊かな生徒の育成
 (深く考え思いやりのある生徒、進んで学びみがき合う生徒、健康でたくましく体力のある生徒の育成)

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○主体的・対話的で深い学びの実現をめざした授業の実践を今後も続けるべきである。	○適切な指標である。	○適切な指標である。	○適切な指標である。
対する 重点 目標 意見	○「読書」の取組を重点課題としてほしい。	○適切な目標である。 ○子供たちが楽しく登校している姿が一番良い。	○適切な目標である。	○適切な目標である。 ○校区内小学校との連携協力が重要である。
取組 状況 に対する	○基礎基本の確かな定着が第一である。 ○グループ学習を取り入れた「学び合い」の授業では、子供たちは「学び」から逃げるできないことがわかった。 ○なぜ「読書」が必要かを伝えながら、「読書活動」の充実を推進してほしい。 ○家庭学習支援サービス「カルテック」の利用が増えることを期待する。そのためにも保護者の協力が必要である。	○「いじめアンケート」等を活用し実態把握に努めていることがわかった。 ○無記名による「いじめアンケート」を実施すればより確実な実態把握ができるのではないかと。	○「朝ごはんを食べた」と回答した生徒の割合が78.9%は低すぎる。生徒の生活リズムを整えるための方策がほしい。 ○「運動器検診」等の結果から子供たちの健康課題の分析、情報の共有がなされている。 ○学校は「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推奨に努めている。	○子供たちは学校だけでなく地域の中でもよく挨拶ができている。 ○学校が保護者や地域と連携しながら「さらに意味のある教育の場」を創りあげたいとの前向きな姿勢を感じる。 ○学校が公民館活動の発表の場となっていて地域としてもありがたい。
す取 組の 適切 さの 検証 結果 に対	○グループ学習では自分一人では答えが出なくてもグループ内で話す過程での関係づくり(仲間意識)にも効果が期待できるように感じた。 ○「わからなかったら訊こう」と思う子供を増やしたい。教員の授業力向上に期待する。	○記名による「いじめアンケート」では十分に確実な実態把握は難しいと思われる。 ○情報モラルやネット社会に潜む危険性についてはあらゆる機会を通して子供たちに伝えてほしい。	○基本的な生活習慣が身についた子供たちが多いことから校区内には安定した家庭が多いことがわかった。 ○「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推奨を進めてほしい。	○学校と地域との連携は良くできている。今後も情報交換が大事である。 ○毎月5日間の「朝の挨拶運動」や「お帰りパトロール隊」等を通じ河西中学校は安泰だと感じている。
改 善 方 法 に 向 け て の 意 見	○次年度も「学び合いの授業づくり」の取組を進めてほしい。 ○机の配列をコの字型にすることも考えてみてはどうか。 ○次年度から新設する生徒会図書委員会の図書館運営に期待する。	○次年度には是非、自然体験活動に取り組んでほしい。 ○無記名による「いじめアンケート」に該当する子供を推察できる力、教員のスキルアップを期待する。	○養護教諭と保体科教員・運動部活動顧問、学級担任の連携を取って子供たちの「健康」に関する情報の共有をしていただきたい。	○「木本・松江地区子どもを育てる協議会」でも積極的な情報交換及び有効利用を期待する。 ○英語教育に関する小中の接続のための連携推進等は学力アップにもつながる。

3 その他のご意見

○学校では子供たちの自主性・主体性を大切に育成する教育方針に沿って子供たちの持つ潜在能力を引き出す工夫をされていると感じる。
 ○運動部の活動は活発で、部活動指導員も積極的に活用できている。
 ○様々な事情で登校が難しい子供たちが数名いると聞き、大変気になる。
 ○学校における働き方改革の取組に注目する。